

自分が“世界”と出会う場所

安平町立早来学園 (義務教育学校) について

はじめに

来月、いよいよ「早来学園」が開校します。

皆さんに早来学園を知っていただくため、令和3(2021)年8月号より連載してきましたが、今月で最後となります。

今月は、学校をつくるためにかけた費用やまなびお図書室についてご説明します。

今までご覧いただき、ありがとうございました！

今月以降の予定

3月以降のスケジュールは次のとおりです。

3月

11日(土) 早来中学校卒業式

17日(金) 早来小学校、安平小学校、遠浅小学校卒業式

24日(金) 早来中学校、早来小学校、安平小学校、遠浅小学校修了式

31日(金) 早来中学校、早来小学校、安平小学校、遠浅小学校閉校

4月

1日(土) 早来学園開校

まなびお図書室オープン
まなびお区域の施設貸出し開始

7日(金) 早来学園入学式(7年生)

10日(月) 早来学園入学式(1年生)

費用について

左のページにあるグラフは、この学校をつくるために令和元(2019)年度から令和4(2022)年度にかかった費用とその財源(支出する費用の出どころ)を表しています。上段が支出(費用)で、下段が財源の内訳を表しています。※現時点で見込みのものを含みます。

【支出の内訳について】

大きく3つに区分してご説明します。

① つくるための準備費用

学校に限らず、大きな建物をつくるためには、どこにどのようにつくるのか、材料がどれくらい必要なのかなどをあらかじめ考えて進めていく必要があります。この準備を「設計」と言い、これに関する費用や様々な手続きに関する手数料などが含まれます。

合計で1億9、559万円です。

② 学校をつくる費用

校舎を建設する費用や内部のインターネット環境をつくる費用や備品などを購入する費用、新しい校舎への引越し費用、校舎の外回りを整備する費用などが含まれます。

合計で33億2、179万4千円です。

③ 早来小学校を取り壊す費用

校舎を取り壊し、不要な物を処分するための費用などが含まれます。

合計で8、367万2千円です。

このほか、令和5(2023)年度にも早来小学校の取り壊し費用(1億3、534万4千円)や外構工事費用(1億2、095万2千円)を支出することが想定されています。なお、取り壊したあとは、テニスコート(2面分)やグラウンドになる予定です。